

# おんじやく No. 198 令和2年12月 議会だより

## CONTENTS

令和元年度決算	
考えよう『行政』の家計簿	2
決算から見る 身近な『行政』の効果と費用	4
なにがされたの?町の新型コロナ対策	8
令和2年第3回定例会 一般質問 4議員が登壇	10
提出議案と審議結果	15
議会議員活動情報	17
常任委員会視察報告	
絶滅危惧種「ミヤコタナゴ」を守るために	18

# の家計簿

歳入 39億 945万円

歳出 37億 2,556万円



## 令和元年度決算を認定

決算の認定にあたっては、令和元年度に行われた各事業のほかに、税収、財政の健全化、財政状況を踏まえた事業の継続性などに関する質疑が行われました。

今回の議会だよりでは町の財政状況等に焦点をあて、決算の内容をお知らせします。

### ●令和元年度 主要事業

- ・小中学校エアコン設置工事 1億 1,496万円
- ・町消防団 分団庫の改築・解体 6,036万円  
(第2分団庫解体・改築、第1分団庫解体設計)
- ・御宿版CCRCなどの地方創生関連事業 1,828万円

町の予算・決算の状況は  
ホームページで公開されています。



### 財政の健全化 数値は適正内だが、柔軟さが低い

町の財政が無理なく、健全に運営されているかを判断する指標として、「財政健全化判断比率」の算定が義務付けられています。財政健全化判断比率は、**赤字かどうか、借金の状況はどうか、将来の負担はどうか**、といった項目を統一的に判断するための指標で、令和元年度の町の数値は**いずれも正常範囲内にあります**。

しかし、お金の使い道がほぼ決まっている状況にあり、**財政の柔軟さは低い状況にあります**。

### 一般会計 監査委員意見

●歳入：町税収入は約 8.9億円。収納率は 88.9% (県内 54団体中 53位) と横ばいですが、現年課税分は減少傾向にあります。また、収入未済額 (収入があると手続されたものが、その年度中に納められなかったもの) は約 1 億円となっています。不納欠損処分 (見込んだ歳入が何らかの理由により徴収できなくなり、今後の見通しも立たないことから、債権を放棄すること) は、負担の公平性及び歳入確保のためにも慎重かつ厳正に取り扱い、**積極的な滞納状況の改善に努めてください**。また、自主財源である町税は、住民に直結するサービスを行う際の重要な原資となることから、事務に誤りがないように努めてください。

●歳出：不用額 (予算計上したが、なんらかの理由により予算執行しなかったもの) は 1 億 2,908 万円と、前年度と比べ 54.7% 増加しています。できる限り住民へのサービスとして還元できるよう、適正な予算執行に努めてください。**公共施設等の改修は、多額の費用負担を要することから、財源の確保や基金の活用により、計画的な実施に引き続き努める必要があります**。

財政運営上の課題や効果的な事業費のあり方などを常に見直し、改善を意識した行政運営が重要です。経済情勢や国の施策の動向等も十分に注視し、住民に対して直結した福祉の向上に取り組み、**住民のニーズを把握して有効な施策を進めてください**。



# 考えよう 『行政』

## 町民 1 人分の貯金 11 万円

町には、災害等の急な支出に対応するなど、町を安定的に運営するために目的を決めずに貯める貯金（**財政調整基金**）と、学校の建設など特定の目的のための貯金（**その他特定目的基金**）などの貯金があります。

### ●令和元年度末基金の残高 … 8億 1,545 万円

財政調整基金 3億 6,577 万円

その他特定目的基金 4億 4,969 万円

教育施設建設基金（学校等を建てるための貯金）1億 763 万円

活力あるふるさとづくり基金（ふるさと納税で集められたお金）1億 6,889 万円 など



### 実は少ない 町の貯金

御宿町と人口や産業の形態が似た団体（類似団体）の財政調整基金+減債基金（借金を返すための貯金）を比べると、**御宿町3億 7,674 万円 類似団体（II - 2）の平均 14 億 896 万円**（平成 30 年度財政状況資料集より）と、御宿町は非常に貯金が少ないことがわかります。

借入金等の債務の額は類似団体より下回っていますが、現在、町内の公共施設の 60%が築 30 年を超えており、今後、そういった施設の修繕、建替え、取壊しなどに多くのお金が必要になってきます。

## 町民 1 人分の借金 46 万円

### 町の借金 悪いことだけではないけれど …

町が事業を行う際、財源確保の手段の1つに借金があります。

例えば、令和元年度は町消防団第2分団詰所の建設を行うためにお金が確保され、実際に建築がされました。建設は単年度で行われていますが、何年も使っていく施設建設の財源を単年度で負担することは、年度年度の間で不公平が生じてしまいます。しかし、町の財政は「その年に入ったお金をその年中に使う」が基本です。（貯金をして使うお金を持ち越したり、事業を繰り越したりという例外はあります。）**施設を使う人が年度を越えて公平に負担をするために、借金をして毎年少しずつ返していく。これが借金の役割の1つです。**また、借金の中には、借りた額の一部が後に国から交付税として戻ってくるものもあります。

しかし、**借金は借金**。しすぎると当然財政は悪化してしまいます。そうならないために、借入と返済のバランスが大切です。

### ●令和元年度に町民 1 人が

返したお金  
**38 万円**

借りたお金  
**54 万円**



返済より借入が上回る

### ●令和元年度末地方債の残高 …34 億 1,807 万円

令和元年度に償還した地方債の元金 2億 8,807 万円

令和元年度に借り入れた地方債 3億 9,490 万円

地方債が財源とされた主な事業と借入額 消防団第2分団詰所建設5,620万円、清掃センター施設修繕工事5,570万円、道路の改良・補修5,140万円、小中学校へのエアコン設置9,610万円

# 決算から見る 身近な『行政』の

# EFFECT 効果と費用 COST

皆さんから集められたお金がどんな事業にいくら使われ、  
どんな効果があったのか。

令和元年度中に行われた事業のうち「生活に密着した事業」  
に注目し、その「効果」と「費用」をまとめました。

## EFFECT きれいな環境の維持

御宿町といすみ市（旧大原町）から出されるごみの処理は、御宿町清掃センターで行われています。ごみの焼却をするために、施設の点検、補修は欠かせません。令和元年度は日々消耗する炉の耐火物のほかに、ごみを炉に搬送する装置の改修が行われました。

御宿の魅力の1つである砂浜をきれいにするために、ビーチクリーナーと牽引用トラクター（下写真）が購入されています。夏季や海岸を使ったイベントの開催時などに運転され、町民や来町者が安心して歩ける砂浜の環境が維持されています。

また、町内の公衆トイレの清掃や公共施設周辺の草刈等を行うために、環境整備員が配置されています。



## COST

**2億9,573万円**  
町民1人あたり4万円

※いすみ市負担分を引いて計算

- ・清掃センターの補修工事 7,460万円  
特定財源 地方債 5,570万円  
いすみ市負担金 1,243万円
- ・清掃センターの運営費 2億6,172万円  
特定財源 いすみ市負担金 1億4,792万円  
ごみ袋の売り上げ金 204万円  
ごみ収集手数料等 2,067万円  
鉄等の有価物売払料金 531万円
- ・ビーチクリーナー購入費 1,488万円
- ・環境整備員賃金 1,006万円



# EFFECT

## 道路の補修・修繕

老朽化した道路や道路脇の側溝などの補修は、職員による定期的な点検や各地区からの要望を元に、計画的な修繕がなされています。

令和元年度は、御宿中学校脇の道路の拡幅（下写真）、メキシコ記念塔登り口の落石対策工事、天神橋（高山田から大原台にぬける道にある）補修工事が行われました。

道路の点検については、職員だけでなく、地元小学生や各地区の土木委員等の協力を得ながら行われています。また、町が管理する道路や歩道の草刈等は、業者に委託し、町民が使いやすい環境が維持されています。



# COST

**1億 3,090万円**  
町民1人あたり1万8千円

- ・町が管理する道路や側溝の補修  
6,319万円  
  - 特定財源 地方債 1,066万円
- ・トンネル長寿命化修繕計画策定 485万円  
  - 特定財源 地方債 160万円
  - 国県支出金 239万円
- ・天神橋補修工事 2,751万円  
  - 特定財源 地方債 880万円
  - 国県支出金 1,291万円
- ・道路清掃委託 656万円



# EFFECT

## 安全・安心な水道水の供給

家庭に安全・安心な飲み水を供給するため、老朽化した水道管の交換や、ろ過機や変圧電気設備等の浄水施設修繕等が計画的に行われています。

# COST

**水道事業**  
**4億 1,601万円**  
水1m<sup>3</sup>を作るのに389円

- ・採取した水をろ過するための施設の更新  
2,100万円
- ・水質を維持するための薬品と  
水質の検査費用 700万円
- ・家庭にある水道メーターの定期的な交換  
249万円

### 水道事業 監査委員意見

漏水は、有収率（ダムなどから採取した水のうち、どれだけが「供給できる水道水」になるかの割合）に大きく関係するので、今まで以上に**漏水対策に努めてください。**

水道料金の未収金は前年度比約630万円増加している。徴収率も年々減少していることから、**徴収強化に努めてください。**

※水道事業は税別で記載



# EFFECT

## 産業の振興



農業については、イノシシ等の獣害対策として捕獲免許の取得補助、捕獲用箱わな等の購入がされているほか、中山間総合整備事業（県営事業）などが実施されました。また、漁業については、漁港の施設を管理していくための計画作りや、御宿の水産資源であるアワビ、ヒラメなどの稚貝・稚魚の放流などが行われました。

商工・観光については、観光施設である月の沙漠記念館や御宿ウォーターパークの運営などがされ、観光協会や商工会等と連携し、伊勢えびまつりやおんじゅくまちかどつるし雛めぐり（下写真）などの各種イベントが実施されました。



# COST

## 1億9,949万円

- ・有害鳥獣対策 657万円  
     特定財源 国県支出金 399万円
- ・漁港海岸保全施設長寿命化計画策定 275万円
- ・町営プール運営 2,894万円  
     特定財源 地方債 570万円  
     入場料 1,454万円
- ・月の沙漠記念館運営 1,405万円  
     特定財源 入館料 166万円
- ・海水浴場の運営 1,822万円



# EFFECT

## 国民健康保険など 各種保険事業の運営

それぞれの制度に基づき、医療費の給付や、健康診断等の事業が行われています。

また、介護保険特別会計では、寝たきりや認知症の防止のために介護予防事業が行われており、年々参加者が増えているとのことです。

# COST

- 各会計 歳出決算額
- 国民健康保険 10億7,541万円
  - 後期高齢者医療保険 1億5,060万円
  - 介護保険 10億4,694万円

### 保険事業 監査委員意見

●国民健康保険特別会計：国民健康保険税の徴収率が60%を下回っており（現年分92.76%、滞納分12.68%、全体で59.97%）、**税負担の公平性や財政基盤安定化のためにも、徴収率の向上に努めてください。**

●後期高齢者医療特別会計：保険料の徴収率は99.8%。引き続き適正な制度運用を図り、利用者に寄り添った運営をお願いします。

●介護保険特別会計：高齢化が進むなか、**要介護認定者数の減少等がみられたことから、効果的な介護予防事業が行われていると感じられます。**保険料は**費用等を適正に見積もり、過度な保険料の上昇がないよう**に取り組んでいただきたい。



# EFFECT

## 安全・安心なまちづくり

町消防団の活動補助や、消防団施設の更新等がされています。

令和元年度は、町消防団第2分団（新町・六軒町）詰所の解体・改築（下写真）や、第1分団（高山田・久保）詰所解体の準備などが行われました。

また、いすみ市、勝浦市、大多喜町、御宿町の2市2町の共同で、救急搬送や消火活動を行う常備消防が運営されています。



# COST

## 2億8,029万円

町民1人あたり3万8千円

- 町消防団第2分団（新町・六軒町）詰所改築 5,486万円
  - 特定財源 地方債 5,250万円
  - 国県支出金 229万円
- 広域常備消防運営費等負担金 1億8,251万円
- 町消防団の運営費等 2,483万円

# EFFECT

## みんなが集う場

### 公民館 B & G 体育館

公民館は、書道、合唱、陶芸など、様々なサークルの活動の場となっています。また、学校が終わった後の子どもたちの居場所として、自然を楽しむゲームや昔遊びなどをする「放課後子ども教室」が開催されています。（対象：小学校1～3年生）

町内には、B & G 体育館、B & G プール、弓道場、御宿台テニス場、パークゴルフ場などの体育施設があり、様々な世代に利用されています。



# COST

## 1億2,120万円

町民1人あたり1万6千円

- 公民館バルコニー改修工事 2,404万円
  - 特定財源 地方債 1,550万円
- B & G 体育館やプール、御宿台テニス場等の運営 2,165万円
  - 特定財源 施設使用料 544万円

## その他事業

- 地域公共交通「エビアミー号」運行 1,021万円
  - 特定財源 其他諸収入 345万円
  - 運賃 135万円 ※1回300円
  - ／利用者1人あたり2千円
- 子ども医療費（高校生まで）補助等 1,367万円
  - 特定財源 国県支出金 400万円
  - ／子ども1人あたり2万1千円

- 高校生の通学定期購入補助金
- 小学校～大学の入学時補助金
- 小中学校の修学旅行補助 等 512万円
  - ※小中学校の入学時補助金は、小学校3千円、中学校8千円が一律で支給される。高校・大学等への入学時補助金は、所得等を審査した後に交付を決定。（最大15万円）

# なにがされたの？ 町の新型コロナ対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染防止のための外出自粛や小中学校の休業などがされ、生活、仕事、経済、教育など、身近なもの全てにおいて多大な影響がありました。

今回の議会だよりでは、「新しい生活様式への対応」や「町経済の底上げ」など、これまでに町が行った新型コロナ対策等をまとめました。（11月開催第4回定例会までに予算計上されたものを記載しています。）

なお、これらの対策は、主に国からの交付金（内示額 約2億6千万円）が充てられています。

## 地元産業への経済支援 5,350万円

### ●中小企業等が資金の借入を行った際の 利子分の支給

町が通常行っている中小企業振興利子補給の利用者に対し、2年以内に限り2分の1を上限に追加支援を行う。（設備資金：最大3,000万円、運転資金：最大500万円）

また、ひと月の売上が前年度同月比で10%以上減少している場合、政府が行う無利子貸付以外の資金借入を行った際、5年を限度に利子相当分を助成。

### ●町の感染症蔓延防止施策への 協力事業者に対する協力金の給付 ※受付終了

町外からの人の流入を抑えるために、営業時間の短縮や休業、人が密にならないための工夫等、町独自の感染症予防対策の要請に協力した町内の宿泊業、飲食業、遊漁船業（釣り船）を営む方に対し、最大で20万円を給付。

### ●伊勢えび宿泊まつりの支援

宿泊業の後押しをするために、毎年行われている伊勢えびまつりの形態を変え、「おんじゅく伊勢えび宿泊まつり」として、宿泊者に対し、伊勢えび等をプレゼントするサービスが行われた。

### ●相談窓口の開設支援

商工会や観光協会等で、コロナ対策に関する個別窓口の設置を支援し、雇用・事業の維持や支援策の活用を支援。

### ●中小企業再建支援金 ※受付終了

事業継続や再開を支援するため、千葉県中小企業再建支援金の受給者に対し、上乗せ支援。

### ●プレミアム付商品券の発行

次ページ「家庭への支援」を参照。

### ●ふるさと納税PR

ふるさと納税をしたい方が使用するサイトに、御宿の特産品を扱う特設ページを開設。ふるさと納税の促進を図る。



### ▲ふるさと納税 御宿町特集ページ

季節に合わせて内容が更新されています。寄附金の増額が見込まれ、11月定例会での一般会計補正予算で、ふるさと納税寄附金が5,000万円増額されました。



## 家庭への支援 6,580 万円

### ●プレミアム付商品券の発行 ※販売終了

1冊1万円で1万3千円分の買い物ができる商品券を発行。商品券は町内の商店で使用でき、1人3冊まで購入可能。7千部を発行。

町民の家計を助けるためだけでなく、町内経済の落ち込みを防ぐ効果も期待。

### ●水道料金の軽減

令和2年3月、4月分(5月検針分)の水道料金を最大10万円軽減。

### ●こころと健康のケア

自粛によって外出機会が減った高齢者の介護予防を推進するためにパンフレットを発行。

また、自粛疲れによる心と体の健康を保つためにチラシを購入し、配付。

### ●家庭学習の環境整備

千葉工業大学から寄贈されたタブレット端末を児童・生徒に貸出し、小中学校臨時休業中の家庭学習を支援するため、学習支援ソフトの導入やWi-Fiルーターの貸出等を実施。

### ●高校受験の学習支援

現在、地方創生戦略の中で行っている市進予備校による小中学生を対象とした授業を、今年度は高校受験を控えた中学3年生を対象に実施。学校の臨時休業による学習面への不安に対応。

### ●ひとり親家庭への支援

児童扶養手当を受けている世帯に対し、児童1人あたり1万円を支給。

### ●国の特別給付金10万円を受け取っていない新生児に対し、同額を支給

国が行った10万円の特別定額給付金の支給対象基準日以降、令和3年3月末までに生まれた子どもに対し、町から10万円を支給。

## 公共施設の衛生管理 5,490 万円

### ●医療機関への支援

いすみ医療センターや亀田病院等において、新型コロナウイルス感染症にかかった人を治療するために必要な病床の確保に要する経費を負担。また、広域消防に対し、患者の搬送に必要な防護服やオゾン脱臭殺菌機等の購入経費を負担している。

いすみ医療センターが行う感染症対策(ウイルス検査の実施等)に要する経費を負担。

### ●サーモグラフィを使った検温器の設置

公共施設の利用者の体温チェックのため役場等の入り口に検温器を設置。

### ●接触を少なくするための改修

学校や御宿児童館の手洗い場やトイレをセンサー付のものにし、手を触れなくても水が流せるように改修。

### ●公共施設の3密対策

窓口にパーテーション等を設置し、直接対面する機会を減少。職員の分散勤務や事務室を分けるなどがされた。

議場での3密防止のために、会議用のパーテーションも併せて購入。

### ●消毒液、マスク等衛生用品の購入

おんじゅく認定こども園、町内の小中学校等に配備するオゾン脱臭殺菌機等を購入。また、公共施設に備え付ける消毒薬やマスクを購入。

### ●避難所における3密対策

間仕切り用簡易テント、非接触型体温計、配慮が必要な方等に対応するための簡易ベッド、換気用の大型扇風機、消毒用噴霧器等の購入を進める。

また、体調が思わしくない方等のための避難所としてはB&G体育館等が想定されており、避難所として開設するための準備が進められている。



▲ B&G 体育館での避難所開設訓練  
区画を仕切るテントが並んでいます。

# 令和2年第3回定例会 一般質問

＊一般質問 9月16日に、4名の議員が一般質問を行いました。

質問 順番	質問事項	質問議員
1	1. 御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2. コロナ禍における観光対策について 3. 12月以降の町政運営について	貝塚 嘉軌
2	1. シルバー人材バンクの活性化について 2. 甚大化する風水害、震災への対策について 3. 新型コロナウイルス感染症 経済対策としてのプレミアム付商品券の発行について	藤井 利一
3	1. 移住促進と少子化対策について 2. 獣害対策について	岡本 光代
4	1. 地方創生臨時交付金（第1次補正・第2次補正）について	堀川 賢治

※3人の議員から、町の新型コロナウイルス感染症対策に関する質問がありました。  
今回の議会日より、第4回定例会までに予算が計上された町のコロナ対策をまとめましたので、併せてご覧ください。

 P 8 町のコロナ対策

## 一般質問 その後



▲町営岩和田団地

### ＊岩和田団地の解体について

関連  令和2年第1回定例会 一般質問

町営岩和田団地は、土地は御宿岩和田漁業協同組合が、建物は町が所有しています。

建物本体の解体については、後背地への飛砂や風の影響を踏まえ、跡地活用の方針が決定してから行うと町から方針が出されています。一方で、老朽化した建物をそのままにできないことや、取り壊すために転居をお願いした方もいること等から、早めの対応を求める意見も出されています。

現在、御宿岩和田漁業協同組合によって跡地利用の方針が検討されています。そのための会議が設置されており、議会の代表として北村昭彦議員、岡本光代議員が参加しています。

貝塚嘉軌議員



地域活性化  
人口「増」を追求する施策を

町長 — まずは人口が減らないように対策を行う。

基本目標と指標	達成したもの / 指標の数
<b>A 地域産業の創生と雇用の拡大</b> 年間観光入込客数、起用相談件数、農水産業の新規就労者数、開業件数、光回線利用者数など	6 / 10
<b>B 移住定住と交流人口の増加</b> お試し暮らし利用者数、純移動数（転入－転出）、ごみのリサイクル率、大学との連携事業数など	3 / 9
<b>C 安心して子育てできるまちづくり</b> 合計特殊出生率、海と山の子交流事業の継続、「子育てに不安や負担を感じている人」の割合など	5 / 8
<b>D 高齢者が安心して住み続けられる環境づくり</b> 御宿版 CCRC の導入、介護認定率、介護・医療サービス企業の誘致件数	2 / 3
<b>E 好循環を支えるまちづくり</b> エピアミー号の利用者数、消防団員数、公共施設等総合管理計画の策定、防災訓練の参加者数など	3 / 7

▲令和元年度までの御宿町まち・ひとしごと・創生総合戦略の目標達成状況会議の内容はホームページで公開されています。



● 地方創生  
事業の進捗は

Q 御宿町まち・ひとしごと創生総合戦略は平成27年度に始まり、今年度で最終年度を迎えます。国の交付金を活用し、移住促進対策や交流人口の増加策などが行われてきました。目標数値の達成状況及び重要業績評価指標（KPI Key Performance Indicators）について伺います。

A 御宿町まち・ひとしごと創生総合戦略では、5つの基本目標を達成するために6つの数値目標とその数値目標を達成するための具体的な施策に31個のKPIが設定されています。令和元年度の実績で、全体の達成率は48.7%で、6つの数値目標のうち4つ、31個のKPIのうち14個が未達成となっています。（分野別の状況は左表参照）

未達成の要因は様々で、例えば公共交通利用者数や月の沙漠記念館入館者数等は年々増加をしております。

ておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴うイベントの中止や外出自粛等が影響し、最終的に目標の達成ができなかったのではないかと考えています。未達成の指標の中には、戦略策定時の数値を下回っているものもあり、事業の進捗状況や取組内容を整理し、課題を検証するとともに、改善すべき事業や施策は必要に応じて見直しを行うなど、より実効性を高め、目標の達成を目指してまいります。（答弁者：企画財政課長）

Q 移住・定住促進や交流人口の増加については、これまでも様々な企画、宣伝等がされてきましたが、全国の自治体が同様に移住・定住施策を行い、人口の奪い合いをしている状況にあります。

先日行われた御宿町まち・ひとしごと創生総合戦略の会議の中で、町長は「御宿の立地環境で人口を増やすことは難しい。いかに人口の減少幅を縮めるかが課題だと思う。」という内容の発言をされておりました。また、この会議の中で、この町長の発言に対し、「人口の増加は無理だ」という悲観的な話を町長からしてほしくない」という発言もあり、私も同意見です。

石田町長は、就任時から定住促進を重点施策としてきました。今までの施策にどのような反省点があり、どういった考えで「人口の増」から「人口の減少幅を縮める」と方向転換をしたのか、町長の真意を伺います。

A 町人口の社会動態（転入・転出による増減）は、これまでは転入が多くプラスになっており、自然動態（出生・死亡による増減）は、毎年百人程減少しています。この10年間で、全体として700人ほど人口が減少しています。

これまでも移住希望者を対象とした体験ツアーやお試し居住等を行ってきましたが、何人かの参加者が御宿へ移住されたという実績はあるものの、百人単位での人口増は難しいことは確かだと思います。そういった現実を厳しく受け止め、まずは減少幅を少なくし、増加に転じさせていく。人口の減少幅を少なくすることが最大の目的ではありません。

人口減少対策は、当面の一番大きな課題だと思っておりますので、ICTの活用や空き家の利活用を移住・定住政策と連携し、対策を進めていきたいと考えています。（答弁者：町長）





# 藤井利一議員

## 新型コロナ対策を踏まえた 災害対応や経済支援を

産業観光課長 — 地域に効果が出るよう、連携を強化していく。

### ● コロナを踏まえた 災害対応 進捗は

**Q** これからの災害対応には感染症対策も併せて行っていく必要があり、この冬にはコロナウイルスとインフルエンザの同時流行も懸念されています。「新しい生活様式」を踏まえた災害対策の進捗を伺います。

**A** 「新しい生活様式」を踏まえた国のガイドラインに基づき、衛生用品の確保など、新たな需要に対応するための費用を今回の議会でも予算提案しています。(購入備品の詳細(P9))

また、体調不良の方等のための避難所としてはB&G体育館等を想定していますが、運営にあたる職員の対応についても現地での避難所開設訓練等を行い、「新しい避難所運営の在り方」を確認しています。

感染防止対策を踏まえた避難所運営には、住民の協力が非常に重要であ

り、避難の方法や事前の体調チェック等、周知していきたいと思えます。(答弁者：総務課長)

### ● プレミアム付商品券 町内の活性化を期待

**Q** 新型コロナウイルス感染症対策として、町では国や県の交付金を活用し、様々な経済的な措置が講じられてきました。

その中の一つにプレミアム付商品券の発行があります。現在、買い物客の町外大型店舗への流出が大きな問題となっており、このプレミアム付商品券の発行は、町内の経済活性化に大きな効果をもたらすと期待しています。この事業の詳細を伺います。

**A** 町では、新型コロナウイルスの影響を受けている町内店舗を応援し、地域経済の活性化と町民の暮らしを支援するため、町内にお住まいの方や町内にお勤めの

方等を対象に、御宿町プレミアム付商品券の販売を9月14日から開始しました。

1冊1万3千円分の買い物ができる商品券を1万円で販売し、1人3冊まで購入できます。発行数は7千部、令和3年1月15日まで町内の約百店舗で利用できます。

プレミアム付商品券発行事業による地域経済への波及効果が出るよう、商工会、商店振興会、観光協会など関係機関と連携していきたいと考えています。(答弁者：産業観光課長)

**Q** 一方で、資金の関係で商品券を購入したいけれどもできない方もいると思えます。こういった方への支援策はありますか。

**A** プレミアム付商品券は、購入時に少なくとも1万円以上の現金を用意する必要があることから、購入できない方への対応については今

後検討したいと思えます。(答弁者：町長)

### ● シルバー人材バンク の利用促進を

**Q** 高齢により、宅地採、重い荷物の移動を誰かに頼めないかという相談を受けます。そのような作業の依頼先の1つにシルバー人材バンクがありますが、制度の利用促進が図られれば、利用者も登録者にもメリットがあると思えます。特に登録者に対しては、自分のスキルを発揮する機会が増え、さらなる生きがいづくりにもつながるのではないのでしょうか。現在の利用状況と、制度の周知や活用促進についての町の考えを伺います。

高齢化や労働人口の減少が進む中、高齢者に働く機会を提供し、生きがいづくりや心身の健康維持・増進を図るなど、シルバー人材バンクの果たす役割はますます重要になってくると認識しています。住民が気軽に、便利に利用できるよう会員募集を進めるとともに、制度の仕組みや活用方法などの周知に努めていきます。(答弁者：保健福祉課長)

**A** シルバー人材バンクに依頼ができる業務は、臨時的かつ短期的な軽易な業務で、事務や筆耕、大工仕事に草刈り、屋内外の掃除やペッ



# 岡本光代議員



## 増え続けるイノシシ 根こそぎ捕まえるための方策を

### 産業観光課長 — 捕獲従事者の支援を進める。

#### ●イノシシ対策 免許取得の促進を

**Q** 電気柵や金網を設け置いてもそれをなぎ倒し破壊、田畑を荒らしまわるとイノシシに農家は頭を抱えています。

**県** や町では、狩猟免許やわな免許の取得促進をしていますが、受験者からは申込みがしにくい、試験が難しくなった等の意見がありました。試験実施者である県としても獣害対策は重要な問題です。県に対し試験の定員や回数を増加を求めたり、町独自の試験対策講習会を開いたり、免許取得を目指す方の「やる気」を助ける施策を行う考えはありますか。

**A** 県が行う狩猟免許試験については、今年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため縮小されていますが、以前と比べ受講機会等の拡充がされています。また、町独自の施策として、狩猟免許試験前に

千葉県猟友会が開催する初心者猟友会講習会の受講案内をするほか、講習料と狩猟免許手数料の全額を補助するなど、捕獲従事者の確保に努めています。引き続き、支援を進めていきたいと考えています。  
(答弁者：産業観光課長)

**Q** 現在、町で使っているイノシシの捕獲用箱わなは、組立てが難しい、重い、壊れやすいといった意見を耳にします。費用を削減するために、入札によって安いものを購入するといった行政の物品購入方法につ



▲内側から破壊された箱わなイノシシの力はすさまじく、溶接された檻も壊して逃げていきます。

いては理解しますが、価格だけにとらわれず、実際にそれを使う方が真に使いやすい、求めた効果が発揮できる物品の購入が重要だと考えます。捕獲従事者の年齢と実態を考慮しても、軽くて使いやすい箱わなの購入は必要と考えますが、町の考えを伺います。

**A** 現在、捕獲従事者の平均年齢は56歳で、30代から80代、17名に捕獲駆除をお願いしています。イノシシの捕獲や駆除には危険が伴うことから、捕獲用のおり等には一定の強度と耐久

性、効率性が求められます。捕獲従事者のご意見や先進事例を参考に、計画的な購入を進めていきたいと思えます。  
(答弁者：産業観光課長)

#### ●子育て世代にとつて 魅力的な移住施策は

英語に触れてもらうなど、田舎暮らしをしたい方にとつて魅力的な施策を展開し、移住促進を図るのはどうでしょうか。

**Q** 町では、年々児童数が減少していま

す。少子化は未来の働き手の減少を意味し、経済規模の縮小に加え、社会保障の負担増などにつながるかと考えられ、まさに少子化対策は待ったなしの状況にあります。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により、自宅で仕事ができる環境が整いつつあります。リモートで仕事ができるなら自然豊かな場所に移住したいと考える人も増えているようです。コロナのピンチをチャンスに変える為に、例えば、おんじゅく認定子ども園において、言葉を感じ取るのに最適な年齢の子どもたちに日常的に生の

**A** 従前から小中学校に配置されるALT(外国語を母国語とする先生)を週1回こども園に招き、ネイティブによる歌やゲームで楽しみながら英語に接する機会を設けています。年長児になると英語で簡単な会話ができるようになり、園児にも好評でしたが、新型コロナウイルス感染症対策として一時的に休止しています。

以前、おんじゅく認定こども園において、日常保育中に英語を使うことで自然に英語力が身につくような取組ができないか検討しましたが、現状、英語教育専門の職員を配置することは難しいと考えています。新規採用などに際し、職員の英語力については考慮したいと考えています。  
(答弁者：保健福祉課長)





## 堀川賢治議員

### 地方創生の推進にもIT、ICTの活用が必要 アフターコロナを見据えた町の対策は

#### 町長—IT化、ICT化に対応するための拠点づくりを進める。

#### ●コロナ対策 住民への経済支援は

**Q** コロナ禍中において、地方自治体には「感染症の拡大防止」と「経済活動の活性化」という相反する2つの事項が求められています。御宿町においては、人口減少に歯止めをかけ、地域を豊かにするため、生涯活躍のまち・おんじゆく(御宿版C(R)C)構想をはじめとする地方創生事業に取り組んでいる最中です。こちらについても足踏みするわけにはいかず、特に、県内一の高齢化率の高い御宿町においては、御宿版C(R)C構想のメインコンセプトである「だれもがいつまでも安心して生き生きとくらせるまち」の実現に向け、結果を出していかななくてはなりません。

また、今年度は感染症対策として、国から交付金約2.6億円の内示があり、我々は政治家として、コロナ禍だけでなく

「アフターコロナ」を見据えた対策を行っていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策と町が行った町内の事業者や住民への経済支援施策を伺います。

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大防止策に関する経済対策として、事業者に対しては、経営の安定化や緊急対策支援のための利子補給や、感染症蔓延防止のための協力の支給、中小企業への再建支援を行いました。住民への経済

対策としては、プレミアム付商品券の販売、ひとり親家庭や新しく子どもが生まれた家庭への給付金の給付を行いました。

町では、地方創生事業として、平成27年度に御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略を定め、その中で生涯活躍のまち(御宿版C(R)C)事業等を行ってきました。今回の交付金は新型コロナウイルス感染症に対応するための臨時的なものでしたが、基本として町がやるべきことは関連して

いますので、その時々に必要な施策を行っているかと理解しています。(答弁者：町長)

#### ●地方創生の視点からICTの活用を求め

**Q** コロナ禍後にどう成長していくか中長期的な視点が必要とされています。

コロナ禍を機に、デジタル化、リモート化の流れが加速しており、コロナ禍が収束するそのときに向け、対策を講じていく必要があるのではないのでしょうか。

地方創生の視点から見ても、地域活性化、若者の定住促進、御宿版C(R)Cのコンセプト実現などを進めていくためには、情報通信技術(ICT)やそれを使ったコミュニケーション(ICT)の活用が必要であると考えるています。アフターコロナを見据えた町の活性化について、町長の考えを伺います。

**A** 新生活様式に対応した役場業務体制として、庁舎内のWi-Fi環境の整備や、業務のリモート化、「3密」を回避する環境を整え、安定した業務の継続性を確保し、住民サービスの安定供給を図っていきたいと考えています。

また、コロナ禍をきっかけに、社会全体がこれまでも大きくICT化に向けて動いていますが、御宿町においても、産業振興、移住・定住、企業誘致、医療・福祉、教育、防災、様々な分野でICT化が求められていると考えており、それに対応するための拠点づくりを進めていきたいと考えています。

人口減少、移住促進、交流人口の増加、空き家の活用などへの対策を進める上でも、ICTを活用し、問題に対応していきたいと考えています。(答弁者：町長)



▲町内経済の底上げを狙って発行されたプレミアム付商品券。家庭への経済支援と地域産業への経済支援の2つを兼ねています。※販売は終了しています。



# 令和2年第3回定例会 提出議案と審議結果

## 9月17日 日程第2号

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和元年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和元年度資金不足比率について	報告
議案第1号	天神橋(Ⅱ期)補修工事請負契約の締結について	可決
議案第2号	いすみ市と御宿町における適応指導教室事務の委託に関する規約の制定に関する協議について	可決
議案第3号	御宿町ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	令和2年度御宿町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第5号	令和2年度御宿町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第6号	令和2年度御宿町一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第7号	令和元年度御宿町水道事業会計決算の認定について	承認
議案第8号	令和元年度御宿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認
議案第9号	令和元年度御宿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	承認
議案第10号	令和元年度御宿町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認

## 9月18日 日程第3号

議案番号	件名	議決結果
議案第11号	令和元年度御宿町一般会計歳入歳出決算の認定について	承認
発議第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	可決

## 契 約

### ●天神橋(Ⅱ期)補修工事請負契約 (議案第1号)

天神橋の補修工事に関する契約です。

天神橋の補修工事は、令和元年度からの3年間で行われる予定です。

相手方 (株)鈴木工業

契約金額 5,698万円

期間 令和2年9月17日～令和3年3月25日



▲天神橋  
高山田から大原台へぬける道にあります。

## 補正予算

### ●御宿町水道事業会計補正予算第1号 (議案第4号)

県道配水管移設の延期による事業費及び県補償金の減額、補助金事業の見直し、工事不具合箇所の追加などにより予算を調整するもので、収益的収入及び支出を1,722万6千円減額し、資本的収入を3,198万2千円減額、資本的支出を4,519万1千円減額されました。

### ●御宿町介護保険特別会計補正予算 第1号(議案第5号)

令和元年度における介護給付費等の実績に伴い、国・県・支払基金への返還、一般会計への精算繰出について補正を行うほか、認定関係事業における会計年度任用職員人件費等の調整を行うもので、歳入歳出に3,154万円を追加し、補正後の予算総額は11億3,808万5千円となりました。

### ●御宿町一般会計補正予算第6号 (議案第6号)

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した地域医療体制の整備や3密防止等感染機会の削減、地域経済及び住民生活の維持を推進する予算を計上するほか、事業中止が決定となったものにかかる予算の減額、人事異動による人件費の調整等をするもので、歳入歳出に2,519万4千円を追加し、補正後の予算総額は46億4,400万3千円となりました。

## 規約の制定

### ●いすみ市と御宿町における適応指導 教室事務の委託に関する規約の制定に 関する協議(議案第2号)

適応指導教室は不登校の児童等を対象にした教室で、これまで国・県の補助金を得ていすみ市と共同で行ってきました。

今回、国・県補助金の交付期間が切れることから、今後も継続して教室を行っていくために、いすみ市へ事務の委託を行う規約を制定するものです。

## 条例改正

### ●御宿町ひとり親家庭等医療費等の 助成に関する条例の一部を改正する 条例の制定について(議案第3号)

県の補助事業であるひとり親家庭等医療費等の助成について、千葉県内で受給券を用いた現物給付が本年11月から可能となったことから、受給者の利便性の向上のため、町においても11月から現物給付を開始するために条例改正が行われました。

## 新型コロナ 地方税財源の確保を求める意見書を提出しました

(発議第1号)

提出者 岡本 光代 賛成者 伊藤 博明、田中とよ子

新型コロナウイルスの感染拡大への対策として、経済活動の自粛や営業時間の短縮、人の移動の自粛などが行われ、御宿町の事業者においても経済的な打撃を受けており、町税などの大幅な減収が見込まれています。

地方自治体は、長期化している新型コロナウイルス感染症感染拡大への対策だけでなく、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など、様々な課題への対応が迫られており、住民にとって必要な施策を講じるためにも、税収が安定的な地方税体系の構築や税の減収に対する補填措置などが必要です。地方交付税や地方税は地方財政の基幹であることから、国に対し、地方税財源を確保するための措置を求めるもので、全員の賛成により可決されました。

意見書は、内閣総理大臣をはじめ、総務大臣、財務大臣などに宛て送付しました。

# 議会議員活動情報

(令和2年9月～11月)

町議会議員の出席した会議や行事などを紹介します。

## 9月

- 2日 議員協議会(第9回)
- 9日 議員協議会(第10回) /議会運営委員会
- 16日 定例会(第3回) 日程第1号
- 17日 定例会(第3回) 日程第2号
- 18日 定例会(第3回) 日程第3号
- 23日 例月出納検査
- 24日 国保国吉病院組合出納検査
- 29日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合出納検査

## 10月

- 8日 布施学校組合議会定例会
- 12日 議員協議会(第11回)
- 16日 常任委員会視察研修
- 19日 岩和田団地跡地活用検討委員会
- 21日 例月出納検査
- 22日 国保国吉病院組合出納検査
- 29日 国保国吉病院組合議会定例会
- 30日 夷隅環境衛生組合議会定例会

## 11月

- 2日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 5日 産業建設委員会協議会(第4回)  
御宿町生涯活躍のまち推進協議会  
御宿町生涯活躍のまち推進事業評価委員会
- 9日 教育民生委員会学校視察  
議会運営委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 16日 定例会(第4回) 日程第1号  
議員協議会(第12回)
- 17日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 18日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合負担金審議特別委員会 /議会だより編集委員会
- 20日 千葉県町村議会議長会定例会  
夷隅郡町村議会議長会常会  
例月出納検査 /国保国吉病院組合出納検査
- 25日 布施学校組合出納検査
- 26日 国保国吉病院組合議会臨時会
- 27日 夷隅環境衛生組合議会臨時会
- 30日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会



●表紙 役場庁舎と銀杏



## 絶滅危惧種「ミヤコタナゴ」を守るために

今年度は、教育民生委員会の主催で、御宿町が誇る「国の天然記念物」で、絶滅危惧種に指定されているミヤコタナゴ（下写真）の保護に関する施設及び取組みを視察しました。

ミヤコタナゴは、かつては水田や水路など、人間の生活のすぐ近くに生息していた生き物ですが、里山の荒廃や農業の近代化等、時代の変化による影響から数が激減し、さらには、ここ近年問題となっているイノシシ等の野生動物の増加、気候変動の激化など、新たな脅威にもさらされ続けています。

現在の御宿町のミヤコタナゴの生息地は山間に位置しています。大雨のたびに生息地が土砂に埋まり、ミヤコタナゴだけではなくタナゴ類が世代を超えて生息し続けるために必要な産卵床となる2枚貝が全滅してしまう環境にあると、長年御宿のミヤコタナゴの保護に携わっている方から伺いました。まさに町の宝である「御宿のミヤコタナゴ」は風前の灯火だと言えます。



▲神奈川県 観音崎自然博物館にて

視察では、ミヤコタナゴを守っていくために

- ①産卵床となる二枚貝が住み続けられるような周辺環境を整えることが肝要。複数分野の専門家の知見を得ながら、環境整備に注力していくべき。
- ②一か所の生息地のみ手を入れることは非常にリスクが高いため、並行して別の場所での生息地復元も検討すべきであること。
- ③民間団体や学生など若い世代の参画を得て、地道な活動を継続していくための組織づくりが必要であること。

の3つが重要であるとの示唆を得ました。

これを契機として、御宿町におけるミヤコタナゴ保全の取組みが新たな一歩を踏み出せるよう、引き続き議会としても研究と提言を続けていきます。

★町ホームページ (<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>) では、議会情報や過去に発行された議会だより、会議録等がご覧いただけます。また、議会事務局でも閲覧ができますので、ご連絡ください。

御宿町議会事務局 TEL 0470-68-2515



### 編集後記

師走を迎え、早くも年末の慌ただしい雰囲気を感じられるようになりました。今年は11月になっても春のように暖かい日があり、「霜月」とは、と考えさせられることもありました。そんな中でも木々は色づき、美しい紅葉で目と心を楽しませてくれます。秋から冬に向かい、これからいっそう寒さがつらくなりますが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザに気をつけながら、季節の移り変わりを楽しみたいものです。

さて、今回の議会だよりでは、先日参加した研修会で専門家よりいただいたアドバイスを元に、「議会の見える化」に着目し、決算や新型コロナウイルス対策などのページ編集を行いました。

議会や行政が身近に感じられるよう、編集委員会一同知恵を絞りながら紙面づくりを行ってまいります。ご意見・感想などをお寄せいただけるとうれしいです。

議会だより編集委員会

岡本光代